



【正面はアウェイのサポーター席。この日の為に埼玉（浦和）から駆けつけたサポーターのレッドのユニホームで真っ赤に染まる。】

長崎のサッカーチーム「V・ファーレン長崎」が J1 で活躍していることはご存じか。昨年末に J2 より昇格、それも奇跡とも言われる快進撃で J1 リーグ入りを果たした、我が地元長崎のチームなのだ。ホームスタジアムは諫早市（いさはや/長崎市から約 25 キロ東）にあるトランスコスモスタジアム。そのスタジアムに、今季開幕第 3 戦となる、対浦和レッズ戦を応援に行った。試合は先制し得点するも、後半戦で追いつかれ 1 - 1 の引き分けに終わった。でも相手は昨年のアジアリーグ王者の浦和レッズ、引き分けで上等、負けなくてよかったとすべきであろうか。

J1 リーグの観戦も、また地元サポーターとして応援するのも今回が初めてであった。サポーター席の一角で、共に声を張り上げ、立ち上がり飛び跳ね、歌い、タオルを振り……この興奮と連帯感、もう癖になること間違いない。次のホームでのゲーム予定をしっかりとチェックしているところである。

V・ファーレン長崎

社長はあの「ジャパネットたかた」の高田明さん
昨年の V・ファーレン長崎の社長就任により J1 昇格の道が出来、達成したといえる。
今後もその経営手腕に期待するところ大きい。

この日、会場のサポーターに挨拶にきていた“ナマ高田”を見ることが出来た。